

代表からのご挨拶

サンライズ・メイト・バート株式会社
代表取締役 井上 明美



いつも皆様方には、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

梅雨も明け本格的な夏を迎えましたが、皆様お元気にお過ごしでしょうか。

2019年NBAドラフトにてワシントンウィザーズから一巡目9位の指名を受けた八村塁選手の目覚ましい活躍に期待するばかりです。時節柄お身体ご自愛ください。

サンライズの物語

難病に立ち向かう夫婦の姿—— 社会資源の不足を感じる物語

その方は奥様と二人暮らしで余生を謳歌しておられました。

しかしある日ご主人様の様子に異変が起こり、主治医よりレビー小体型認知症を診断されたのです。

内服治療をしながら介護保険サービスを利用されていましたが、状態は悪化する一途……

幻視や幻聴が出現し「誰か子供が居る」「虫が沢山いる」等の発言、そして身体機能も低下してベッドから自力では起き上がれない状態になってしまったのです。

そんな時奥様も難病に罹患、バセイド病と診断されてしまったのです。

奥様も疲れ果て「二人で死んでしまいたい」と泣き崩れてしまいました。

「大丈夫、私がついてる」と言うのが精一杯でした。

経済的にも困窮しており介護負担を軽減することができない利用者に対しての社会資源が不足しているのが現状です。

孤立したご家族様が安心して生活ができるような共生社会を作らねばならないと考えます。



サンライズのデイサービス陽光だより

【介護職員】
鈴木 祥悟



サンライズのデイサービス陽光の介護職員の「鈴木 祥悟」です。
よろしくお願いいたします。

障害者施設で2年間、施設職員として務めておりました。

介護福祉は初めてですが、今までの経験を活かして皆さまに喜んでいただけるサービスを提供できるように頑張っております。

【入社5/20】 【血液型A型】



井上から
エール!

鈴木さんです。どうぞよろしくお願いいたします。
週3回、出勤しております。

介護に役立つ書籍紹介

マンガでわかる 無理をしない介護

著：福辺 節子／代居 真知子

もしも、家族に突然「介護」が必要になったら。元・野良ネコのジュリーと仲良く暮らしていた「たま子さん」が、ある日、転んで足に大けがを負って入院してしまった! 娘の静さんは、突然訪れた親の「介護問題」に直面し、動揺してしまう。静さんとジュリーは、徐々にたま子さんの介護生活への理解を深めてゆきます。心も体もつらくない、誰一人として無理をしない介護があるということ、マンガとイラストで緩やかに伝えています。



NEWS 今月のニュース

認知症高齢者 地域が支え 有償ボランティア活躍

認知症の高齢者が増え続ける中で家族、医療・介護施設、行政に加えて、地域住民も含めた支援が求められている。北海道中央部の中空知地域では、住民のボランティアが有償で患者の通院に付き添う活動を続け、家族の負担軽減にもつなげている。

ボランティア団体「ぼっけ」は家族に代わり、病院で受け付けや会計、予約などの手続きを行う。診察室にも同行する。検

査結果や医師の説明を記録し、家族に正確に伝える。

認知症高齢者は、主にケアマネジャーから紹介を受ける。利用者は80代以上が多く、農家を含めて1カ月に延べ80~90人。1時間当たり600円の利用料を支払う。

利用では、特に病院への付き添いが多い。介護保険では病院内での介助は原則適用外のためだ。岡さんは「ぼっけの活動は、家族や介護保険が対応できない部分を補う“隙間の支援”と強

調する。他にも、買い物や孫の運動会の応援に同行したり、家族が家を空ける間、認知症高齢者と一緒に留守番をして見守ったりと、日常生活のさまざまな場面でニーズがある。

認知症高齢者からの需要が高まる中、課題はボランティア会員の確保。岡さんは「認知症高齢者の日々の暮らしを守るためにも、活動の周知を進めて会員を増やしたい」と展望する。

<日本農業新聞

2019年7月27日(土)>

広報誌「ライジング・サン」のバックナンバーは、弊社ホームページでもご覧いただけます。

ぜひお立ち寄り下さいませ。 <http://www.samaba.jp/back-number/>